

20. ミズメ (アズサ) (納戸のミズメ)



直径 92 cm



樹高 25 m

【解説】

現地は、前述のイヌシデ等と同じ「和尚山温帯性植物群落保護林」内に生育している。

ミズメは、樹皮を傷つけるとその箇所から、水のような樹液が出ることが名前の由来で、その液が湿布の匂いがするため、同定する時の重要な判断材料となる。この匂いは、サリチル酸メチルという成分が入っている為であるが、ヨグソミネバリという別名の「ヨグソ」についてもこの成分が由来する。

県内ではミズメはブナと同じ地域に生育することが多いため、ブナがある場所では注意して探すと見ることができる。

当署管内では、この他にミズメの巨木を発見することはできなかった。

【所在地】

北茨城市関本町小川字和尚山国有林1013ね林小班内
北緯36°54'29" 東経140°35'52" 付近